教科書 p.218～219

年	組	番
名前		

探究力 UP ワークシート

⑧ 排他的経済水域の増減で何が変わるか？

■資料読解の問い

日本の排他的経済水域には、どのような特徴があるのだろうか？

STEP 1　既習事項の確認〔知識・技能〕

1　領海、接続水域、排他的経済水域は、それぞれどのような水域なのか、教科書 p.212 を参考に整理しよう。

2　排他的経済水域の設定によって、日本の漁業にどのような影響があったのか、教科書 p.99 を参考に説明しよう。

STEP 2　資料の読解〔思考・判断・表現〕

1　教科書 p.218 図 1 から、日本は国土面積に対して何倍の排他的経済水域の面積があるのか、計算しよう。また、日本の南鳥島の基線を根拠とした排他的経済水域の面積（万 Km2）を計算して求め、日本の国土面積と比較しよう。ただし、200 海里は 370 km、円周率は 3.14 として計算すること。

2　教科書 p.218 図 1・2 から、国土面積に対して排他的経済水域の面積が広い国にはどのような特徴があるのか、その国が位置する場所に着目して説明しよう。

【　大陸　島国　排他的経済水域　】

■国土像探究に向けて

大陸棚や排他的経済水域を生かした海洋利用を探究しよう。

STEP 3　自身で探究〔思考・判断・表現〕

1　世界の多くの国で延長大陸棚の申請を目指しているが、それはなぜだろうか。教科書に掲載されている資料やインターネット、図書館の書籍などを用いて調べよう。

2　STEP 3 の 1 で調べたことを踏まえ、大陸棚や排他的経済水域の面積が増えることで、どのような利点や課題があるのだろうか。また、私たちの生活には、どのような影響があるのだろうか。教科書に掲載されている資料やインターネット、図書館の書籍などを用いて調べ、教科書 p.219 図 7 のようにそれぞれ整理しよう。

Plus （利点）	Minus （課題）	Interesting （関心をもったことなど）
【私たちへの影響】		

STEP 4　協働・まとめ〔主体的に学習に取り組む態度〕

1　グループになり、STEP 3 で探究したことを発表しよう。また、大陸棚や排他的経済水域を活用した日本の海洋利用が進むことで、私たちの暮らしにどのような影響があるのかを議論し、ほかの人の意見を聞いて、新たな視点やさらに調べてみたいことなどを書き出そう。

【新たな視点】 **【さらに調べてみたいこと】** **【そのほか】**

振り返り

1　ここまでの学習を振り返って、以下の項目について自己評価をしよう。十分に達成できた項目には◎を、一部は到達できた項目には○を、到達には努力が必要な項目には△を、それぞれつけよう。

日本の排他的経済水域の特徴について、理解できた。	
世界の多くの国が延長大陸棚の申請を目指している理由を調べ、まとめられた。	
大陸棚の延長や排他的経済水域の面積拡大による利点や課題のほか、あなたが関心をもったこと、私たちの生活への影響をそれぞれ分けて表現し、ほかの人と議論できた。	